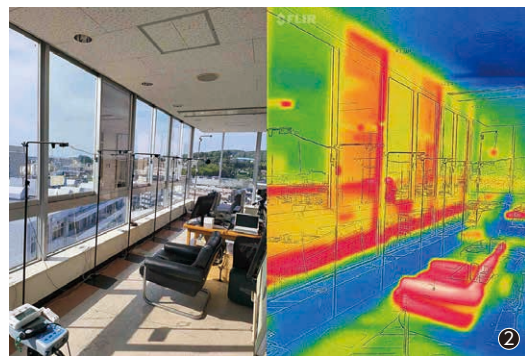


ひとにも建物にも環境にもやさしい窓とはどんな窓か



学 外
連携プロジェクト

建築都市工学部 × 亀屋硝子(株) × (株)サンゲツ ×
YZDA/Yoshida+Zanon Design Atrium



①異なる種類の窓に実際に手で触れてみる ②赤外線カメラによる表面温度計測 ③窓フィルムの違いが住環境に与える影響検証

法基準を満たす断熱性能をもった窓のランニング状況下における性能検証実験に取り組む。

参加者の声

私は、窓とその枠、扉などの建具は、ひとにも建物にも環境にもとても重要な要素だと考えています。でもこれまでの授業で設計課題に取り組む時に、窓の種類を考慮したことはありませんでした。このプロジェクトで学べたことは多く、異なる種類の窓に実際に手で触れてみた時に表面温度が全く違うことにも驚きました。私は、就職活動で、建築物の省エネ性能向上も専門とする建築設備設計会社の選考準備にプロジェクトの経験が活かしました。

内間 音羽

建築都市工学部
住居・インテリア学科・3年
沖縄県・向陽高等学校



卒業後に日本の建物づくりの仕事に就きたいと思う学生には、この法改正に応えられる高度なスキルも求められます。ひとにも建物にも環境にもやさしい窓とはどんな窓か、2018年度以降、本プロジェクトでは、8号館8階西側の窓をリフォームし、ガラス枚数・ガラスとガラスの間・窓枠が異なる7種の窓のランニング状況下における性能検証実験に取り組んでいます。

概要

2022年6月17日に「脱炭素社会の実現に資するための建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等の一部を改正する法律(第69号)」が公布され、2025年4月1日に施行されました。この「改正建築物省エネ法」によって、全ての新築の省エネ基準適合が義務化されました。日本では、天井や壁だけでなく窓や扉も法基準を満たす断熱性能をもたせた設計計画が必要です。

身につけた能力〈九産大生コンピテンシー 及び その他のスキル〉

1 知性・実践力
問題
発見力

8 共創力
問題
分析力

15 グローバル
対応力
異文化
理解力

- 建築設備設計
- インテリアデザイン